



10月号

学校だより

育ち学ぶ当事者 支える当事者 下福田小学校

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 健康で明るい子
- がんばる子

令和6年10月1日

知恵と工夫で創り出す

学校長

ここへきて空気に少しずつ秋らしさが感じられるようになってきました。空に浮かぶ雲も夏をイメージする「入道雲」から秋に見られるものに変わっています。5年生の理科では雲の学習をしますが、秋の雲には特徴があり、「うろこ雲」、「いわし雲」、「さば雲」や「ひつじ雲」に「すじ雲」など、その呼び名もたくさんあります。晴れた日に空を見上げると、この時期ならではの季節の変化を感じられます。

今月の運動会に向け、9月の下旬から練習が始まっています。この夏が非常に暑かったことから児童の健康面を一番に考え、休憩や水分補給について十分に気を付けて熱中症対策をして参ります。また、大きな音が出ることで、近隣の皆様にはしばらくの間ご迷惑をおかけします。

先月末の下福田清掃の日にはたくさんの保護者の方に集まっていただきました。まだ暑さの残る中での作業、お疲れさまでした。みなさんのご尽力に気付く子もおり、先に作業を終えた5年生の子が「大人はまだ頑張ってくださいているんだね」とつぶやいているのを耳にしました。ご協力、ありがとうございました。

当日、活動に入る際、校庭に集まった子供たちに「静かに立ちましょう」の指示がありました。往々にしてざわざわとする場面ですが、私語などがほとんどなく、それぞれの分担場所へ移動していきました。こういうところは下福田小の子供たちの良さなのだなと感心させられました。

本校の「学校教育目標」はこの学校だよりの右上にも示してありますが、4つあります。これは「校訓」と「教育目標」とを合わせ簡潔にしたものなのですが、元となっている「教育目標」には「よく考え創り出す子供」という項目があります。最近、日本の生産性の低さを言われることがあります。いずれ社会を背負っていく子供たちに備えてほしい資質の一つとして、「創意工夫」はとても大きなものであると考えます。9月の終わりに「下福フェスティバル」という児童会行事がありました。普段の授業とは異なり、自分たちで企画し運営する活動です。子供たちはとても楽しそうにあちこちの「お店」を回っていましたが、うまくいったことや失敗したことを反省として次にいかしていくことこそ貴重な経験となります。

「学校教育目標」は下福田小学校の教育活動の根幹をなすものです。4つの項目を具現化していけるよう日々の授業や学校行事を充実させていく中で、「創り出す」についても大事にしていきたいと思えます。